

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 瑞浪高等学校学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和3年6月16日（水）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会長	安藤 徳善	瑞浪市日吉公民館 館長
副会長	正村 和英	瑞浪市 総務部長
委員	鷲尾賢一郎	瑞浪商工会議所 会頭
	榛葉 利広	瑞浪市議会 議員
	加納 素介	瑞浪市立瑞浪南中学校 校長
	信太 寿理	中京学院大学短期大学部 専任講師
	横地 玲子	瑞浪市立みどり幼稚園 園長
	玉川 幸枝	合同会社プロトビ 代表
	浅井 康広	瑞浪高校育友会 会長
	立木 優子	瑞浪高校育友会 前会長
オブザーバー	小川 祐輝	岐阜県議会 議員
	水野 光二	瑞浪市長
	山田 幸男	瑞浪市教育委員会 教育長
	加藤 健二	瑞浪高校同窓会 会長
	高橋 範行	県教育委員会教育総務課 課長補佐兼教育企画第二係長
学校側	安藤 和昭	校長
	吉田 益穂	教頭
	相賀 栄寿	事務長
	今井 典彦	教務部長（教務主任）
	丸谷 利幸	進路支援部長（進路指導主事）・総合探究PJチーム
	安田 貴彦	生徒支援部長（生徒指導主事）
	齋木 一美	生活産業部長（生活福祉科主任）
	横井 雅代	1年学年主任
	戸澤 英美	2年学年主任
	石田 春彦	3年学年主任
	林 尚志	県立高校地域連携コーディネーター

5 会議の概要（協議事項）

- (1) 「令和3年度教育指導の重点及び学校経営計画（高等学校版マニフェスト）」について
意見1：ICTの積極的な活用やLGBTへの配慮など、新しい課題に取り組まれていることに好感が持てる。

意見2：地域探究活動の取組を通して、次代を担う若い力が育まれることに期待する。

意見3：瑞浪市の小中学校では、一人一台タブレットの配備を完了し、また地域学習や地域貢献活動をしている。小中学校での学びの接続についても検討願いたい。

(2) 今年度の本校の取組について

意見1：特色あるカリキュラムの編成であり、よく工夫されている。

意見2：瑞高塾の成果がめざましく、驚いている。公立高校での取組としては困難も多いと思うが、更なる充実を目指してほしい。

※瑞高塾：進学・就職を問わず進路目標実現のために実施する補習や個別学習指導、小論文指導などの総称

意見3：卒業後に対応できるスキル、学びを身に付ける進路支援に期待する。

意見4：「時を守り、場を清め、礼を正す」の具現化を強力に進めてほしい。

意見5：「優厳皆笑」の示すごとく、生徒に寄り添った、丁寧な指導を進めていると思う。

意見6：（ここ数年の定員割れに対し）生活デザイン科に入学してほしい生徒像、育てる生徒像をより明確に示し、中学生と保護者にしっかりと伝える必要があるのではないか。

意見7：生活福祉（生活デザイン）科は昨年度、新型コロナウイルスのため地域交流があまりできなかったようだが、ICTツールなども活用してぜひ継続していただきたい。

(3) 高等学校における「三つの方針（スクール・ポリシー）」の策定について

意見1：次の3点を重視してほしい。

- ・生徒の夢や希望を育て、それを叶えられる学校
- ・社会人としての基礎基本が身に付けられる学校
- ・他を思いやり自立した生徒の育成

意見2：入学者選抜時から卒業時までの教育活動を、一貫した体系的なものとして形にすることが、入学希望者にとってわかりやすいのではないか。

意見3：これまで、そして今取り組んでいることを整理すればそれで十分だと思う。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会において、本校の教育指導の重点及び学校経営計画（高等学校版マニフェスト）について、承認が得られた。

新型コロナウイルス感染症によるまん延防止等重点措置の延長により、今年度第1回の本運営協議会は書面にてご意見を伺うこととしたが、委員から昨年度の取組に対する評価とともに、それを継承・発展させようとする今年度の学校運営方針に承認が得られた。

特に、昨年度の進学実績の大幅な向上については高い評価であった。コロナ禍で、一昨年度以前と同様の指導が難しい中で、進学、就職問わず生徒一人一人の希望を叶えることができたのは、学校として何よりうれしいことであった。

一方、来年度に向けた「高等学校における『三つの方針（スクール・ポリシー）』」の策定については、限られた紙面に込められた委員の思いを、学校として十分斟酌しなければならない。そして、本校の目指す方向性と魅力が十分アピールできるスクール・ポリシーを目指していく。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮しながら学校運営に努めていくことになる。教育活動を止めることなく、再来年度に控えた創立100周年に向け、さらなる発展の一年としたい。